



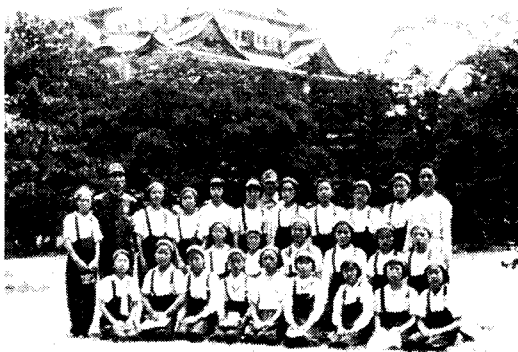
\* 今月の花  
クリスマスローズ

## 朝鮮女子勤労挺身隊・韓国光州第三次訴訟・第三回弁論

『明日の希望』語った金英玉ハルビニ85歳  
「打ち明け話は 最近のこと」

【右】閉廷後、光州地裁付近で写真撮影に応ずる、三菱勤労挺身隊第三次訴訟の原告、金英玉さん（左）と李敬子さん

【左】法廷内のスクリーンに映し出された、三菱重工・朝鮮女子勤労挺身隊／全羅南道・麗水小隊の集合写真（一九四四年六月ごろ。背景に名古屋城天守閣。原告金英玉さんは『前から二列目、右から二番目が私です』と明言し、両隣の友人とのエピソードにも言及した。



韓国で進められている名古屋三菱朝鮮女子勤労挺身隊第三次訴訟（二〇一五年提訴。原告は金英玉さん・ソウル市在住、李敬子さん・全羅南道羅州市在住の二人）の第三回弁論が、四月二十五日、光州地方法院（地裁）で開かれた。

原告本人への尋問（金正熙弁護士が担当）で金英玉さんが証言した。

金英玉さんは一九三二年生まれの八五歳。証言は、名古屋三菱へ動員された経過から始まり、約三十分にとどまった。（陳述書は提出済み）、要旨以下のとおり。

○一九四四年三月、麗水美坪（ミピョン）尋常小学校卒業直後に自宅を訪問した郡庁職員から、三菱への動員話が切り出されたこと。

○「日本へ行けば勉強ができる」と煽る日本人がいたこと

○反対に「戦争、真つただ中の日本に行ったら死ぬ」と祖母らからのきつい反対があったこと

○三菱での労働は、飛行機部品をヤスリで磨く作業が毎日、学校へ行くという話は嘘でした。

○東南海地震と米軍空襲（名古屋）

時間	時間	時間	時間
2016年 5月7日(金)	(14:00) 休庭	2016年 5月7日(金)	2016年 5月7日(金)
2016年 5月7日(金)	(15:30) 休庭	2016年 5月7日(金)	2016年 5月7日(金)
2016年 5月7日(金)	(16:00) 休庭	2016年 5月7日(金)	2016年 5月7日(金)
2016年 5月7日(金)	(16:30) 休庭	2016年 5月7日(金)	2016年 5月7日(金)
2016年 5月7日(金)	(16:30) 休庭	2016年 5月7日(金)	2016年 5月7日(金)
2016年 5月7日(金)	(16:30) 休庭	2016年 5月7日(金)	2016年 5月7日(金)
2016年 5月7日(金)	(16:30) 休庭	2016年 5月7日(金)	2016年 5月7日(金)

★法廷入口の掲示された進行表。勤労挺身隊訴訟の弁論日程は下から二行目に。



病室に李金珠さんを訪ねる高橋信氏（左）と小出。（順天濟療養病院で）



名古屋の支援者から送られたお土産を胸におさめる李東連さん（左）。右は「ハルモニ」とともにする市民の会」の鄭さん。（光州市のご自宅で）

お元気でした

## 訪韓・傍聴の名古屋支援会／高橋共同代表ら 順天の李金珠さん、光州の李東連さんに会う

屋でも、工場が疎開移転した富山でも）時の記憶は鮮明に。焼夷弾で破壊されたドラム缶から飛び散った油で両腕を中心に全身に火傷を負い、死ぬほどの苦痛を経験した。

○これが私の人生を狂わせたこと。解放後故郷に帰って十年余りは、治療に苦しみ、今も傷跡が残っていること。それを見られるのが恥ずかしく、人に会うことに自尋問のさいご。金英玉さんは促

されて、裁判長に向かって、

「被告三菱から謝罪の言葉と補償がされるなら、余生を普通に送られるよう、住まいの修理もしたいし、少しでも明日への希望がある日を一日でも多く持ちたい」とむすんだ。

この日、被告三菱の代理人弁護士は、原告側の請求趣旨変更（原告李敬子への支給額を三六〇万ウ

オンから三〇〇万ウオンへの変更）についての問題を、「次回の弁論期日に取り上げたい」と主張。この日、証言に立つ予定の梁錦徳さんは病気のため出廷できなかった。

名古屋「支援する会」の高橋共同代表と小出総務が、光州の「市民の会」のスタッフや支援者と共に傍聴した。

（K）

## 裁判進行の見込み

原告担当、金正熙弁護士の話

- ① 次の裁判期日Ⅱ二〇一七・五・三十、十四時、光州地方法院三〇四号法廷
- ② 次の期日には特別な事情がなければ、弁論終結の予定。予想だが二〇一七・六末頃には判決宣告があると見られる。
- ③ 関連事件に対して

一次訴訟が大法院で進行中だが、各法院に徴用及び勤労挺身隊被害

関連の訴訟現況を調査したという。

二〇一七・五には大韓民国大統領が新たに選出される状況だが、誰が選出されても朴槿恵政府よりは過去清算問題にもっと期待感を持つと見られる。

### ④ その他

名古屋から届いている多くの資料は弁護士が検討していて、必要な部分は裁判所に提出する予定。原告らの厚生年金加入記録は提出できなかったが、証言、当時の写真、記念碑に刻まれた名前、対日抗争期強制動員被害者委員会決定文等から、勤労挺身隊動員の事実は立証されたと判断している。

再照明！

前へ！  
未解決  
朝鮮女子勤労  
挺身隊問題ハルモニらの  
『名替回復に全力』『答弁』周辺の行政文書を開示せよ  
一九八八年、政府が約束した

小出 裕

すでに本「会報」で何度もお伝えしているように、日本の朝鮮植民地支配の未だ癒えない傷跡の一つとして、朝鮮女子勤労挺身隊被害者の問題がある。

被害者ハルモニが強制連行・強制労働を強いられた戦時の被害のみならず、戦後（解放後）も、

Ⅰ日本（政府・企業側）の植民地支配の事実・真相の隠蔽により、Ⅱ一九六五年、日韓政府間の『請求権協定』による「解決」「決着」視により、

Ⅲ韓国社会における『挺身隊言説』（軍慰安婦・挺身隊女性性は「汚れている」とする言説）により、

ハルモニらは永く汚名被害を被ってきたし、今なお被っている。過去の日韓関係を投影した、彼

女らの『恨（ハン）』は解けないのか？ 解くにはどうしたら？

昨年七月上旬、筆者は、一九八八年四月国会での外務大臣と厚生省援護課長の答弁と関連して、外務省・厚生省に『行政文書開示請求』を行った。

これに対して、外務省からは二〇一六年八月八日から二〇一七年三月十日にかけて六回にわたり五月雨式に『開示決定等通知書』が届いた。厚生省からは二〇一六年七月二六日、いきなりゼロ回答の『行政文書不開示決定通知書』が届いた。

筆者が両省に開示請求した行政文書は別記に示す【下段参照】  
開示請求のねらいは次のような

外務省、厚生省に  
開示請求した行政文書

## 外務省・行政文書開示申請先あて

1988.4.25 衆議院決算委員会での、草川昭三議員の質問にたいする宇野外相及び厚生省（援護局援護課）山岸親雄委員の答弁関連の行政文書等の開示を以下の通り、請求します。

一、草川昭三議員の質問案に関して、事前になされたであろう調査にあたり、関係方面（厚生省、愛知県民生部、三菱重工業（株）、韓国側等）との、やりとりを示す記録・資料の一切。

二、とりわけ草川議員の強調した、韓国の元勤労「挺身隊員」の、戦後にのこされた『誤解』『傷跡』の内実に関して、外務省側として行った固有独自の調査等の記録・資料の一切。

三、宇野外相答弁の「傷跡をふく」内容について、1965年の日韓請求権協定とも照らして、どのような検討が政府内でなされていたのか、を示す行政文書の一切。

四、宇野外相答弁の後なされた、答弁の履行内容にかんする行政文書の一切。

① 国内において ② 韓国側にたいして

五、1999.3.1（名古屋地裁提訴）～2008.11.11（最高裁決定）間、名古屋三菱朝鮮女子勤労挺身隊訴訟において、被告・国側として提出した、外務省がか

かわった答弁書・意見書類の一切。

以上

## 厚生労働省・行政文書開示申請先あて

1988.4.25 衆議院決算委員会での、草川昭三議員の質問にたいする宇野外相及び厚生省（援護局援護課）山岸親雄委員の答弁関連の行政文書等の開示を、以下の通り、請求します。

一、山岸委員の答弁の中にある『昭和三十五年に厚生省から愛知県を経由しまして入手した資料…名簿の写し』のうち、

①、三菱重工業（株）名古屋航空機製作所の東南海地震〔1944.12.7〕死亡者名（朝鮮半島出身者＝女子挺身隊、男子徴用工を含む）。

②、三菱重工業（株）名古屋航空機製作所の空襲〔1941～1945〕死亡者名（朝鮮半島出身者＝女子挺身隊、男子徴用工を含む）。

③、前記①、②の朝鮮半島出身者＝女子挺身隊、男子徴用工の各々の出身地（保護者の住所）。

④、同名簿の確認のため、三菱重工業（株）、愛知県民生部、韓国の関係者及び関係機関との間での往復した行政文書の一切。

二、この宇野答弁以後、外相の約束した、厚生省と連絡のうえ行くとされた、最大限の努力、を示す、厚生省側の行政文書一切。

三、1999.3.1（名古屋地裁提訴）～2008.11.11（最高裁決定）間、名古屋三菱朝鮮女子勤労挺身隊訴訟において、被告・国側として提出した、厚生省がかかわった答弁書・意見書類の一切。

以上

ところにあつた。

二〇〇五年に、韓国側で日韓会談文書の公開があり、「軍慰安婦」「被爆者」「サハリン置き去り韓国人」の補償問題などが、同会談で未解決課題として浮上し、以降、日韓政府間の協議事項となったケースもあるが、朝鮮女子勤労挺身隊被害者は一般徴用工被害者と同列にみなされて、『解決済み』視されているままだ。

とはいえ、この朝鮮女子勤労挺身隊問題が、日本の市民運動や国会で、注目された時期があつた。

一九八七年から八八年のこと。名古屋での「東南海地震・旧三菱名航空道徳工場犠牲者調査追悼実行委員会」による調査活動を起点に、国内と韓国での調査を踏まえ、朝鮮女子勤労挺身隊問題が国会に届いた。

一九八八年四月二十五日、衆議院決算委員会がその舞台、愛知県選出議員の質問(三菱重工の『殉職碑』には、東南海地震で死亡した朝鮮半島の少女たちの名が除かれている。日韓関係が新しく展開しようとするときに、どう考える

のか?)に、宇野宗佑外務大臣と山岸厚生省援護局援護課長が答弁に立った。

山岸課長は「戦傷病者戦没者遺族等援護法という法律を所管しておりますが、その施行と関連しまして、昭和三十五年に厚生省から愛知県を経由しまして入手した資料」があるとして、「一九四四年十二月七日、東南海地震死亡者の中に含まれた朝鮮人少女六名が読みあげた。宮本貞淑、吳原愛子、金田光子、大山福栄、山本貞禮、光沢禮子」と。

また宇野答弁は、「外務省といったしましても厚生省とご連絡を申し上げ、そして忌まわしき戦争の傷跡をふくよう最大の努力をいたしたい」とした。

この宇野答弁も、六名の朝鮮人少女名を読み上げた山岸課長答弁も、事前通知された質問に、相当の準備・調査がうかがわれる。

残念なことに、いずれも予算措置や協定改訂や法律制定に直接つながる答弁ではなく、当事者企業(三菱重工)にもなんらプレッシャーを与えるものでもなかった。

これらの答弁記録は『官報』に

議事録が残る程度である。国会での答弁関連資料の場合、「国会審議文書」に分類されて、保存期間は十年とされる(二〇〇九年「公文書管理法」)。宇野答弁のあつた一九八八年当時もほぼそのようだったと思う。筆者の質問に外務省・OA氏。ただし「歴史的価値のある外務省関連文書は外交史料館(東京都港区麻布台)で保管、公開しています」とも。今年には宇野答弁からほぼ三十年経っている。

厚労省の場合はどうか。「例えば、戦時の国家総動員法下で、戦災を受けた企業関連資料など、歴史的価値のある文書は、保存期間が過ぎると国立公文書館(東京都千代田区)におさめている。」(厚労省・OB氏)と説明している。「今回の開示申請には、そこまで広げたい調査はしていません。」今回外務省とは異なる開示申請への対応を見せた厚労省。「一発ゼ口回答」には、厚労省スタイルがあるのだろうか。当方側での、国立公文書館での調査が必要かもしれない。

【随時掲載】

刈谷革新懇 講演会

5.14 (SUN)

と き 5月14日(日) 開場1時半 開会2時

ところ 刈谷市産業振興センター 7F・小ホール

※刈谷市総合文化センターとまちがえないように ☎0566 28.0555 (J.R・名鉄 刈谷駅北口 徒歩3分・駐車場あり)



野夢雄太  
講演会では  
許さない！  
最速に一般に  
93歳の書き  
メッセージ

講師

畑田重夫さん

「わが憲法人生七十年」

参加協力費 年収200万円未満の方からは  
1000円 いただきます。

主催 平和・民主・革新の日本をめざす刈谷の会  
(刈谷革新懇)  
連絡先 佐藤博美 ☎0566.23.3935



同映画のポスター

人権抑圧の温床をさばく。  
『民主化』は与えるものか？  
与えられるものか？  
それとも？

鑑賞のおすすめ



[その 21]

韓国映画

『弁護人（변호인）』  
(2013)

伊藤 一郎

(朝鮮文化を知る会)

元大統領であり弁護士でもあったノ・ムヒョン氏を描いた映画。映画の製作者は、報道機関とのインタビューで、映画がノ・ムヒョン前大統領を描いたものだと認めている。ノ・ムヒョン氏の死後に制作された。二〇〇一年に公開された韓国映画『友へチング（여수）』と同様に、慶尚道方言に触れることのできる映画である。

けても、無視する。名刺を渡すと、ソン・オソクの名刺は、机の上に捨てられる。学歴差別の厳しい韓国社会で、主人公・ソン・オソクは高校卒業の弁護士というコンプレックスを抱えつづけている。コンプレックスとはうらはらに、不動産登記を行うソン・オソクの弁護士事務所は大繁盛している。

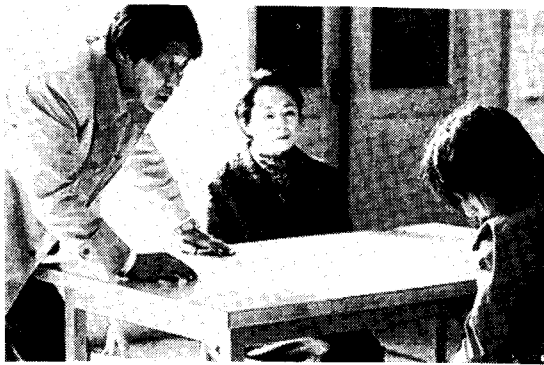
画面は七年前に切り替わる。真っ黒に汚れた作業服姿のソン・オソクは、高利貸しより金を工面し、出産をした妻の病院に向かう。弁護士試験に合格前、妻は貧しい生活のなかでソン・オソクを支え続けた。貧しいソン・オソクは、人情味あふれる食堂で、良心にさいなまれながら、食い逃げをする。

画面は、また現在の場面に戻る。裕福な弁護士のソン・オソクは、自分が法律上の登記をした海を臨むマンションに家族を案内する。家族をマンションに案内したあとで、ソン・オソクは七年前に「借金がある」食堂に家族を案内する。七年前に食い逃げをした料金を支払うために。善良な食堂の夫婦は食い逃げをした主人公に気づかない。ソン・オソクは七年前の謝

映画の冒頭で、バスに乗車中の主人公のソン・オソクは、韓国の代表的な栄養ドリンクであるバツカスを一箱丸ごと抱えている。日本ですーツ姿に栄養ドリンク一箱を抱えているビジネスマンはいないであろう。先輩弁護士の事務所の前で、バツカスを二本飲み干す。事務所前での緊張とは裏腹にドアを開けた後は、先輩にフランクに話かける。

海外の映画を見ると、生の言葉だけでなく、日本と異なるその国の風俗習慣がよく分かる。他の弁護士と会食の場面で、弁護士たちは出身大学、そして高校卒業を見下す発言を繰り返す。他の弁護士に主人公・ソン・オソクが話しか

国家保安法により拘束され、拷問をうけた人情食堂の息子を前に、言葉を失う主人公・ソン・オソク



人情食堂でテジクッパ（豚肉クッパ）を食べる主人公・ソン・オソク。今日でも韓国の料理サイトではノ・ムヒョンの命日の日に「ノ・ムヒョンが食べたテジクッパ」のレシピが紹介されている。



罪をし、家族を紹介する。料金を払おうとすると食堂の夫婦は固辞する。それよりもこれから食堂に来てくれ、今日の食事代も無料だと。

ソン・オソクはこのような善良な人々に囲まれて生きてきたことがわかる。ソン・オソクは、釜山ヨットクラブ会長も務める豊かなブルジョア弁護士であり、同級生会で再開した新聞記者と口論になり、民主化運動のデモを「パルゲイン（共産主義者）」とののしる政治的無関心の人間であった。

大企業での弁護士活動を目前に

したある日、弁護士になる前の食いつけを許してくれた人情食堂の大学生の息子が民主化運動弾圧（釜林事件）により不当逮捕されたことを知る。

釜林事件は一九八一年に釜山で起こった新軍部による学生運動弾圧事件である。大学生はE・H・カーの「歴史とは何か」などを讀んだことを理由に国家保安法違反により逮捕されていた。

食堂は閉鎖され、大学生の親はソン・オソクに弁護を嘆願する。当時の韓国社会では、多くの弁護士が国家権力と相対することを嫌

い、すでに何人もの弁護士が運動家の弁護を断っていた。

映画は、当時の正義がなかった司法をリアルに描いている。大学生の弁護活動のなかでソン・オソクを公安事件、労働争議を扱う人権弁護士に道に進んでいく。ねらった人間に冤罪をかぶせるため、検察官だけでなく、弁護士すら三文芝居を演じて「愛国」のために国家権力の肩を持つ社会。弁護活動のなかでソン・オソクは何度も難関にぶつかると。商業主義の世界に生きる周囲からの圧力もあった。孤立無援な中で無罪を主張し続ける弁護士の姿がすさまじい。

映画のクライマックスは、一九八七年に発生した「大宇造船イ・ソクギユ死亡事件」が描かれる。

一九八七年は、六月抗争以降、韓国全国で労働運動が始まった時期であった。造船所の労働者のイ・ソクギユは、デモに参加している最中、催涙弾が被弾して死亡する。真相調査要求を受けたソン・オソクは、現地に派遣された。事態収拾後に釜山に帰ったソン・オソクは、拘束され、釜山拘留所に収監された。釜山弁護士会は真相

調査委員会を作り、弁護団を結成する。弁護団はソン・オソクの拘束適否審査を請求した弁護士の数は九九人に達した。

ソン・オソクが演じるノ・ムヒョン氏を人権弁護士の道に皮肉にも歩ませた国家保安法であるが、一九九〇年には「南北交流協力に関する法律」の公布後に、同法の存在意味に疑問を提起され、法修正や廃棄が提起され続けてきた。韓国人、そして韓国滞在中の外国人の思想・言論の自由を縛り、韓国人の内面を取り締まる悪法であるが、結局はノ・ムヒョン氏が大統領になった時代にも、この人権抑圧の温床であり続けてきた法律を撤廃できなかった。

一九九七年末から九八年までの韓国の通貨危機後の強いナシヨナリズムを背景に成立したノ・ムヒョン政権は、発足当時から下からの民主化の活性化とは無縁のものであった。そして韓国の民衆も結果的に、民主化運動の活性化を心から望まなかった。大統領就任演説とは裏腹にノ・ムヒョン氏は、最後には在野と袂を分かった。ノ・ムヒョン氏が目指したのは、結

## 物語・朝鮮事情70年

(13)

## (二) 覇権主義と主権の二つの潮流

第三話／朝鮮戦争～新たな政治主体  
とスーパーヘゲモニーの対決

金 宗 鎮

## (三) 米の圧倒的エアパワー

朝鮮の著名な詩人趙基天は歌っています。

人々よ地図をひろげよ

朝鮮をさがせ

されど 都市と村はさがすこと

なかれ

敵の爆撃の風に

今はすべてついで去った

……

出撃した米軍パイロットが「目標物見当たらず」と報告している程です。

第二次大戦中の米国による日本への空爆の情景を知る日本国民は今や数少なくなりました。

十万の命を奪った東京空爆、戦史上になかったエアパワーを世界に見せつけました。

しかし朝鮮戦争はなんと対日空爆を三十倍も上回るものでした。日本の国土の三分の一の領土に、日本への投下爆弾の十倍もの爆撃が行われたのです。

米国の軍事戦略はエアパワーを重視します。

：戦闘行為の勝利は「制空」を

達成することに絶対的に依存している。

：制空権を獲得していない側は人間の想像を絶するような攻撃にさらされることになる。そしてその使用は兵士と一般市民を区別せず敵国民にパニックを引き起こし、精神力を破滅的に喪失させる。

：『勝つための爆撃』は『戦略爆撃』と『戦域航空攻撃』の二つがある。それは①国家の指揮系統（国の指導者）②エネルギー、石油、ガス③橋や道路、鉄道④国民や農業（食料源）⑤地上に配備された軍事力、を標的にする。

米軍の圧倒的エアパワーの効果は少なくありませんでした。

戦争初期に海に追い落とされんばかりの米軍のピンチを救ったのは日本の基地からとびたつた米第五空軍の爆撃でした。

倭館戦線の朝鮮人民軍に対し、一平方Mに一発の密度の高い空爆で人民軍の進撃をしのいでいました。

仁川上陸作戦においても、一千機の飛行機による仁川ソウル間の空爆を行い、米軍の進撃を可能にしました。『戦域航空攻撃』の威

力でした。

このエアパワーに抗して、朝鮮の軍民は「飛行機狩り」を始めました。全身を敵機の標的にさらけ出し、対空射撃を行いました。この「人と飛行機の果し合い」で撃墜された飛行機の数多くあったので、米軍はソ連のレーダー対空砲かと疑ったと言います。

朝鮮人民軍の対空対策で、最もユニークなものは陣地戦での『坑道作戦』でした。

二年間の陣地戦をしのいだ戦いで、岩をくりぬいた坑道戦は、空襲の効力を大きく削ぐものでした。

坑道にはリス等が逃げ込んだと言います。

不屈の意志が生み出した土着戦法でした。朝鮮はこの「飛行機狩り」、「坑道作戦」を「主体戦法」と呼びました。

激戦地と知られる一二一高地戦（「タッチダウン作戦」）は戦史に残る戦いでした。一か月の攻防に砲弾六七万七千発、八四二回の爆撃に二五〇トン、六〇台のタンク出撃、これを「坑道作戦」はよくしのぎました。



## （四）核パワー時代の最初の戦争

一九四五年八月の米国による日本への原子爆弾投下に込められていたソ連への威嚇、ソ連の一九四九年八月の原子爆弾実験の成功によって、核抑止の構造が形成されました。

朝鮮戦争は人類史上核兵器が出現して、初めての大規模戦争です。

朝鮮戦争は「歩兵主力の軍」と「核保有国」との戦いです。

毛沢東は一九四五年八月十三日に発表した「抗日戦争勝利後の時局と我々の方針」の中で、核兵器について、原子爆弾を所持するだけで戦争を終わらせることはできない、と指摘しています。毛沢東は核恐怖症を患う同志たちを批判しています。

一九四六年に米国人記者ストロングの取材に「原子爆弾は『ハリコの虎』だ」という有名な言葉を残しています。

トルーマンは一九五〇年十一月三十日の記者会見で次のように述べています。

…世界は重大な危機に直面している

…米国は朝鮮に対しても必要と考えられる手段を使う用意がある  
…（原子爆弾もか？との質問に）  
原子爆弾も必要とあれば使う。

世界の与論には激震が走りま

した。  
フランスは公開的に遺憾を表明

イギリスは国会議員の抗議書を携えてアトリー首相がトルーマンと会談しました。

世界の人々は反対署名を繰り広げました。（ストックホルム・アピール）

北の住民たちの中にはこの核威嚇に恐れをなして南の地に移った人々がいます。

現在の南北「離散家族」問題の一因にもなっています。

## （五）朝鮮戦争の発生

→東アジア構図の変化

米国は戦勝国として、東アジアでのヘゲモニーを目論見ました。

①日本占領 ②朝鮮半島南部占領

と信託統治 ③中華民国との同盟、によるものでした。

ところが、中国の内戦での共産党の勝利、朝鮮半島北部での朝鮮民主主義人民共和国の創立によって、想定外の構図が出現しました。

米国にとっては共産主義国の存在は容認できない国際秩序です。米国の巻き返し戦略が展開されました。

### ①国共内戦に米軍干渉

一九四六年、米国会は中華民国に二七一隻の軍艦、一千機の飛行機、七千余門の大砲等を援助しました。

一九四八年には五億七千万ドルの武器等のべ四三億ドルの支援を行いました。

しかし一九四八年からは共産軍の反撃が始まり、東北地方の全域を失います。

国共内戦には、あまり知られていないが、朝鮮義勇兵二五万が中国共産軍と共に戦っています。朝鮮義勇兵の参戦は東北地方での国共内戦での兵力比を逆転させ、決定的勝利に大きく貢献します。

中国共産軍と共に朝鮮義勇兵は雪崩を打って海南島まで進撃して

います。

朝鮮義勇兵とは現地の朝鮮青年、抗日を戦った革命家、抗日を戦った金日成抗日ゲリラ、朝鮮民主主義人民共和国成立後は朝鮮人民軍等です。朝鮮民主主義人民共和国は中国共産党軍の後方基地の役割をも遂行しました。十万の歩兵銃、衣服、食料等を支援しています。

米軍の軍事干渉の失敗は、ノーム・チョムスキーによれば『中国の喪失』は『アメリカの衰退』の最初の大きなステップとなりました。

### ②朝鮮の分断

ヤルタ会談（一九四五・二・四〜十一）でルーズベルトは、朝鮮の自治のためには二十〜三十年の年月が必要と発言しています。

戦後、南朝鮮を占領した米軍は軍政を行い、朝鮮独立運動を戦った人々たちを登用せず、旧日本の統治機構を再利用します。親日派が温存されました。

独立の志士、金九、呂運憲等の国民の信望を集めた著名人は分断に反対して暗殺されます。米軍の軍政に不満を持った人民の抗争が発生しました。最大規模のものは

一九四六年九月のゼネストから、参加者三百万人超（死者三百人、行方不明三六〇〇人）を出した『十月民衆抗争』に発展しました。

米は信託統治の実施が不可能と見るや、国連を通じて、一九四八年に南北朝鮮総選挙を強行します。分断を招く事実上の南での単独選挙反対抗争が起こります。

今では広く知られるようになった『チェジュ島四・三事件』が起きました。六万人の虐殺が行われました。在日の作家によって小説に描かれています。

米国人マークゲインは『日本日記』（筑摩書房 一九五一）で「我々は上陸の初日から朝鮮人民の敵として行動した」と記したほどです。

南部朝鮮の人民は、北部で実施された、「土地改革」を求め、「単独選挙」に反対し、一部はゲリラ化します。民意は北部朝鮮との統一のための連席会議にありました。南部の政権は人民抗争と統一のための連席会議によって崩壊へと傾いていました。

南部朝鮮の政治不安は在日社会へも伝わって来しました。

まず故郷への帰国の流れが止まります。逆に帰国者たちが日本へ逆流することもありました。

もともと、在日朝鮮人は朝鮮南部出身者が九九％近くになります。

その彼等の多くは朝鮮民主主義人民共和国を支持しました。彼等の団体や民族学校もそうでした。GHQは一九四八年民族学校の閉鎖、朝鮮団体の解散を命じています。

人心の多くは「米国製の韓国」から離れていました。

米国の極東政策の結果によって、人為的につくられた朝鮮の分断は、二つの政府の軍事紛争を引き起こした。

朝鮮側の資料によれば次のよう

一九四七年 四五四回

（地上 二七四、海上二四、空中 四）

一九四八年 九三三回

（地上 三九一、海上二〇、空中 九）

一九四九年 二六一七回

（地上 六七、海上七九、空中七九）

一九五〇年（五月迄）一五七回

（地上六七、海上八〇、空中三三）

右の「小さな戦争」は戦争の導火線になりうるものでした。

ブルース・カミングスは『朝鮮戦争の起源』でこの内戦状況に関する研究を世に出しています。

### （3）新たな政治的主体への帝国主義の軍事干渉

#### 主権の軍事干渉

抗日戦争の過程で新たに成長した政治的な主体勢力は、中国と朝鮮に反帝民族解放勢力となり、社会主義国を建設しました。

民族解放運動と共産主義の結びつきは近代以来の歴史構造全体を打ち破りました。それは資本主義世界の構造を揺るがしたのです。

これを圧殺すべく、米国の極東政策は外交的な方策を見失い、ついには軍事的解決を選択しました。

しかし以上のような見解は、西側と日本の歴史研究者によって意図的に覆い隠されて来しました。

彼等は米国とソ連の二極対立としかとらえず、冷戦からの米ソ代理戦争論を説いています。あたかも日本の敗戦を連合国の勝利としか説明しない史観です。すなわち、アジア人民の対日戦の勝利を説かない史観です。

この歴史観はアジアの国の政治

的主体の力量の過小評価の繰り返りで、常に誤算の失敗を繰り返すことになりました。

米国は中国内戦で失敗し、朝鮮戦争で失敗し、ベトナム戦争でも失敗します。

実のところは、過小評価ではなく、「力量」が見えないのです。戦争における人民の力「人の力」は彼等にとつては計量しがたい概念です。

民族解放戦の中から育った、自主独立の意思、土地改革を行い人民の利害と一体化した革命軍は全民を軍事力と一体化します。それはスーパーヘゲモニーに民族解放戦争として抗します。

米国は朝鮮半島北部の新たな政治主体を拒否します。それは朝鮮占領、軍政、信託統治画策、単独選挙、抗争の武力弾圧、統一派暗殺、単独選挙反対闘争の武力虐殺、ついには軍事力行使へと、一連のストーリーとして実現しました。どのコマを取ってみても、この米国の極東戦略は朝鮮半島の自

【十五頁一段目、後から六行目に続く】

## 計報

加藤光広氏  
日韓の歴史駆け  
巡った工学博士

二〇一七年三月二十九日、肺炎による呼吸不全で逝去。七十二歳。三重県桑名市に在住。工学博士、三重大、大同工大で教鞭をとった。日韓・日朝市民運動へのかかわりも深かった。とくに、両国関係史に詳しく、二〇一三年二月十六日のFARR主催講演会では「伽耶の国々を訪ねて」と題し講演(写真Ⅱ名古屋国際センター・研修室)、日本との関係を象徴する遺物群や安羅・伽耶の中心だった咸安(ハマン)周辺の古墳群踏査体験を語り、あわせて日・韓の歴史教科書を比較しながら、日本古代史「朝鮮」像の是正を説いた。

三重県御在所岳の日本力モシカセンターでは、案内ボランティアを務めるなど、野外を駆け巡る環境運動の活動家でもあった。

目を凝らそう歴史の真実、刻もう平和の誓い、うたおう明日への希望!

## 第27回 全国縦断コンサート 愛知公演 混声合唱組曲 悪魔の飽食

原詩/森村誠一 編詩/池辺晋一郎 神戸市役所センター合唱団 作曲/池辺晋一郎  
指揮/池辺晋一郎 ピアノ/守光明子



主催/混声合唱組曲「悪魔の飽食」愛知公演実行委員会(実行委員長:内河 晋一(神戸大))  
お問合せ 千464-0821 名古屋市千種区末広通4-18 日中友好協会愛知県連合会 ☎052(763)1152  
後援/名古屋市 名古屋市教育委員会 朝日新聞社 中日新聞社 毎日新聞社 愛知新聞社 中国名古屋総領事館

と き 2017年7月2日(日) 14:00開場 14:30開演

と ころ 日本特殊陶業市民会館フォレストホール (旧名古屋市民会館大ホール)

チケット (指定席)3,000円 (自由席:一般)2,500円 (自由席:高校生以下・障がい者)1,000円

## プログラム

オープニング 合唱/平和・親子ばと合唱団あいち

## 第1部

●ティンティン(中国琵琶)  
演奏曲(予定)/1.長安への道 2.小花 3.木蘭の涙  
●TAJIMI CHOIR JAPAN  
多治見少年少女合唱団とシニアコア  
指揮/柘植洋子 ピアノ/坂野真紀 高橋早紀子  
演奏曲/「響城」(三善晃曲 2台のピアノによる)ほか

## 第2部

対談 森村誠一 & 池辺晋一郎

## 第3部

混声合唱組曲「悪魔の飽食」

- I. プロローグ「七三一の重い鎖」
- II. 生体の出前いたします
- III. 赤い支那靴
- IV. 反乱
- V. 三十七年目の通夜
- VI. 友よ 白い花を
- VII. 君よ 目を凝らしたまえ

指揮/池辺晋一郎  
ピアノ/守光明子  
合唱指揮/高橋寛樹 鳴海卓  
合唱/「悪魔の飽食」を歌う  
愛知合唱団、  
同全国合唱団



※ハルビン市の731部隊  
野証陳列館のホワイザー室

### 混声合唱組曲「悪魔の飽食」とは

第二次世界大戦中に細菌兵器の開発をすすめた旧日本軍731部隊の戦争犯罪を告発し、実験材料(マルタ)として殺された約3000人以上の中国人、朝鮮人、モンゴル人、ロシア人を追悼しつつ、永遠の平和を祈る合唱組曲(全7曲)です。神戸市役所センター合唱団の委嘱により、原詩・森村誠一氏(作家)、作曲・池辺晋一郎氏(作曲家)の手によって完成し、1984年に東京と神戸で初演されました。

「日本人よ、731部隊を問え」と厳しく呼びかける重厚なメロディーの第1曲、731部隊員たちの狂気を歌った第2曲、犠牲となった中国人男性が一人娘に寄せる哀愁を歌った静かなメロディーの第3曲、「実験材料として殺されるよりも人間らしく死にたい」と闘いを挑む第4曲、毒ガス実験で殺されるロシア人親子をストップウオッチ片手に観察した731部隊員の晩年の心情を歌った第5曲、犠牲者を追悼する哀しくも美しいメロディーの第6曲、そして高らかに平和と希望を歌いあげる快活なメロディーがたいへん魅力的な最終曲。…多彩な歌詞とメロディーが深く印象に残る合唱曲です。

全国縦断コンサートは日本合唱史上まれにみるとりくみで日本47都道府県すべてをまわり、この歌を一人でも多くの人たちに、聞いてもらい、歌ってほしい、と広がりをもてています。愛知はその27回目です。また、中国を含むアジア、ヨーロッパなどでもコンサートが開かれ、どこでも超満員の大好評を得ています。

今回の「悪魔の飽食」を歌う愛知合唱団には名古屋青年合唱団を中心とした愛知のうたごえ協議会、合唱連盟、実行委員会からの呼びかけに応えた多くの個人、新聞記事を見た方などが参加して練習を積み重ねています。当日は全国の「悪魔の飽食」を歌うメンバーもかけつけ共に平和の願いを歌います。



# 琉国物語

④

金城博己（琉球人）

一九七二年一月二五日

## 泉町 林礼子宅（大宜見英雄の寄宿先）

礼子は、国際通りを久茂地のあたりで、西に狭い道路（車がやつとすれ違えるほど）を二筋程入ったところのバーサロン『礼』（現在でいえば、ミニクラブ）のママであり、英雄の大叔母でもある。

英雄は、高校、大学と、礼子の家から通学させてもらってきた。礼子は戦前は日本軍将校の妻であったが、夫を南方戦線で亡くしている。戦後には、なんの因果か米軍将校にみそめられ妻になるが、その夫が、こんどは病で亡くなっている。二度の結婚でも子供はいない。現在は最初の夫の林の姓を名乗っている。

「英雄さん、私のお店で三月いっぱいまで、アルバイトをさせてほしいというのは、砂川さんからお話がありましたし、あなたも本当にそのつもりなら、今日からでもいらしてくれたいわね。」

標準語で、やさしげに話をする礼子も、子供のころは与那国の島暮らしだ。島の気質なのか、決めてしまったら、もう前しかみない。英雄のほうが、口には出さないが、（エッ、今日からさっそくですか）と、戸惑っている。

英雄が返事をする間も待たず、

「そうして下さいね、三月いっぱいと言っても、もう二か月程しかないのですから。あなたや砂川さんがお考えになった、お店にいらつしやるお客様の人柄をご覧になるには、その二か月では短すぎると思いますよ。それでいいですね。着るものは、白いワイシャツに、ちゃんとアイロンのあたたつたズボンであればいいですから。ネクタイは私が準備しておきます。五時までにはお店に入れる様にしておいください。」

英雄は、普段から礼子に対しては頭が上がらないのだが、さらに、思わずかしこまった口調になり、

「はい、そうさせてもらいます。」と、頭を下げる。

英雄にとって礼子は、大叔母という関係だが、その礼子のある意味、好んだ訳ではないにしても、その波乱に満ちた人生と、そして礼子の魅力的な生き方そのものを表しているともいえる、礼子の店『礼』に、短期間ではあれ、アルバイトをさせてもらう事に、ある種の期待がふくらんでいる。

英雄はその日の五時にはお店に入り、蝶ネクタイをしめ、礼子ママ（店内では、ママと呼ぶ様に言われた。）に、氷の割り方やお店の開店準備などを教わり、どうにか一息つけそうになった頃、六時前には店の女の子が出勤してきた。総勢七人ママ、店には更衣室があるが、その部屋は小さくていっぺんには着替えができない。順番で

も決まっているのか、ソファに座って静かに待っている子もいる。英雄は、アイサツしたものでどうか迷ったが、ママからの紹介があるまで黙っている事にした。みんなが着替え終わり、一番大きなボックス席に七人が揃うと、

「英雄さん、みなさんに紹介いたしますからこちらにいらしてください。」

と、ママに声をかけられ、英雄はカウンターをくぐりフロアーに移る。

「今日から、カウンターの仕事のしてもらいます 大宜見 英雄さんです。私の親戚にあたりますが、こういう仕事は初めてです。うまくやれない事もあるかと思いますが、よろしく願います。」

ママが紹介してくれたので、英雄は精一杯、

「大宜見 英雄といいますが、よろしく願います。」

と、なんとかいえたと思う。英雄は、こういう場所(きれいな女性を前にした)は、苦手なのだが、そんな事は、気にしている場合ではないだろう。

六時の開店時刻を過ぎるとすぐにドアが開き、最初のお客が入ってくる。一人のようだ。

ママは、すぐにドアまで迎えに立ち、

「アラッ、玉城先生(弁護士)いらつしやいませ。お一人でお見えになるなんて、お珍しいですね。」

「いや、一人じゃないんだ。後で松雄(宮平 松雄 弁護士資格を持つ民政府の副首席)がくるんだ、今日は、松雄のおごりだよ。」と、席につくと、

「そうだ、ママ。今日は松雄のこづかいから払ってもらえヨ。政府の予算でござれたらたまらないからな。」

「宮平先生(副主席)は、お支払いはいつも自分のおこづかいですから、ご心配はありませんヨ。ミチコさん、玉城先生のお席をお願いしますね。」

ミチコさんは三十歳くらいだろうか、特別に美人ではない様だが健康的で明るそうな感じだ。

「大宜見さん、アイスとお水セットでおねがいます。」

ミチコさん、英雄がおもったよりやさしい声だ。ところが玉城は、「最初はビール飲んでおこう。松雄がきてから新しいボトル出してもらったらいいサ。」

玉城がビールを一本飲み干して追加を頼んだ頃、別の客が入ってきた。三人かな、四人だなと、英雄はまずオシボリの数を確認した。

「閣下、いらつしやいませ。」

と、ママがおどけた様子で、敬礼しながら出迎える。

「ナオミさん、エイコさん、ヨー子さん、閣下のお席をお願いします。」

(閣下とは、当山 元一。戦争中は日本陸軍の将校でママの最初の夫・林とは、学校の同期で友人だった。当山家は琉球王朝以来の名家で、現在もその一族は沖縄の主な産業や流通業界で重要な位置をしめている。礼子は『礼』で当山に再会した時、冗談まじりと照れ隠しに閣下と声をかけたのを、当山もその意を汲んで喜んでみせた。それ以来『礼』では、ママもホステス達も、当山を閣下と呼ぶのがあたりまえになっている。)

その後、英雄にも見覚えのあるお客が入って来た。宮平 松雄副主席である。宮平は、ママに、玉城の席に案内されて、

「玉城先輩、遅くなつて申し訳ありません。」

と、謝る素振りをみせた。

「君が約束の時間を守らないのは、いつもの事じゃないか、いまさら

謝らなくてもいいサ。」

玉城は少し冗談ぽく返す。そして、

「ママ、今日は僕たちの席に付いていてよ。松雄の事で聞いてもらいたい事があるんだ。誰かに聞いてもらわないと腹が立つてしまうがな。ダー(サ)、今日は松雄のおごりだから、新しいボトル出して。」

と、先ほどと同じ事を言う。宮平はニヤニヤと笑っているだけである。そして、飲み物のセットもできて、乾杯して口をつけ、玉城はすぐにまた口を開く。

「ママ、松雄が昨日、僕に何をさせたと思う。本当に、この男はどんなでもないヤツだヨ。」

何があつたのか、本当に怒っている様な口調で言う。

「面白そうですね、是非お聞かせ下さいネ、玉城先生。」

ママが楽しそうにうなぐす。

「この松雄はサ、昨日僕の車のトランクに隠れて基地の中に入っただよ。アメリカ軍が、松雄にはバス(基地に入るための許可証)を、くれないものだから、僕の車のトランクに隠して基地の中に入れてくつて頼まれたんだけど、本当にやるとは思わないうらう、ナア、ママ。」

「アラッ、そんな事して見つかったら大変じゃないですか。」

「そうだよ、僕は、弁護士資格を取り上げられたかもしれんヨ。それにスパイの疑いでもかけられたら銃殺もんだらう。」

すると、今度は宮平副主席が口を開き、

「でもネエ、玉城先輩、腹が立つじゃありませんか。アメリカの将校達が普段楽しんでいる基地の中のゴルフ場は、あの沖縄戦の最中には、もう整備しはじめたというんでしょう。それに、コースのコンディションはアジアで最高だという事なのに、沖縄の人間が沖縄

にあるゴルフ場で当たり前にプレー出来ないなんて、おかしいですよ。」

宮平は、テレビなどで時折見せるのと同じに堂々と、我々琉球沖縄の人間が琉球沖縄の地で誰にも遠慮することなんかないんだと言っているつもりなんだろう。

「なんですか、宮平先生は、ゴルフがしたくて基地に忍び込んだんですか。」

席に付いているミチコさんが、あきれた様にたずねる。

「でも、玉城先生まで本当に、宮平先生をトランクに乗せて基地の中に入ったなんて信じられないわ、弁護士の先生方がやることかしらネ。」

今度は、玉城の方に顔をむけて話す。当の宮平は、言い訳でもする様に、

「玉城先生の車はサ、大きなアメ車だからトランクも広いし、いいカーツて思ってたわサ。」と笑い声も出てきそうな話し方という。

それをうけて玉城は、

「まあ、とにかくバレないうちに帰れたからよかったけど、松雄もバスくらいもらえる様に少しはアメリカの機嫌も取っておけヨ。」

と、なぜやりに聞こえる様に言った。

その日は、その後も何組か客が入ってきたが、十二時には客も帰り、ホステス達もそれぞれに帰っていった。店の後片付けが終わると、

「おつかれさまでした。明日からは、お店の開け閉めは、よろしくお願いします。」

ママに声をかけられて、やっと今日は終わったという実感がした。

六日目の土曜日。今日も店は忙しかった。

月曜日からの六日間、今まであまり考えた事もなく、知る機会もなかった沖縄の産業界・経済界の様子が少ないのは実感できた様な感覚である。すぐには信じられないくらいの重要？な方々がほんの一週間の間に英雄の一方的ではあるが見知ることができた。何故、『礼』に、これ程の人達がお客として訪れるのか、人脈が人脈を呼ぶのか、それと共に礼子ママにひきつけられての事だとは思うが。英雄にとって礼子は、ここ数年来、厳しいがそれとともに尊敬さえ感じられる大叔母というだけだったのだけど、こんなにも人を引き付ける魅力があるとはしなかった。あらためて不思議な思いがしてくる。

店の客は、みんな大変興味を引く人ばかりだ。今日までの客の中で、英雄の一番印象に残ったのは、大野 一郎薩摩の侵略以来代々居住している薩摩商人の子孫。五年前に父親である先代大野天海が他界した後を継いでいる。沖縄の経済界、特に地元の銀行等の大株主で、主要産業にも多くの資本提供をしているが、一般の沖縄の人達の間では知名度が低い。しかし知る人ぞ知る沖縄経済界の重要人物。少しおしゃべりなエリコさんからの情報では、妻は沖縄の名家

の出だが、子供はおらず、愛人五人の間に八人も子供があるらしいとの事。まだ四十代であろうか、典型的なボンボンの様子で、店でも取り巻きに囲まれていたが、本人からはイヤミな様子も感じられなくて、ボンボンという立場を自然体でこなしているように思える。

その次が、長浜 方栄（沖縄医師会会長、離島の小浜島出身で戦前に東京で医師免許を取得。現在那覇市与儀と、宗元寺に沖縄一を誇る総合病院を経営。大柄な体とは違って、静かなそして、まわりに対して気遣いが感じられる人、ナオミさんがお気に入り）。

この二人には何か通じる様なものを感じるし、いつか大きな力になってくれるような予感がある。

しかし、一人だけ、別の意味で興味を引くお客がいる。那覇総合事務局(名称だけでは分かりづらいが、米軍占領下の琉球における日本政府の出先機関)の職員だという鈴木という方で、ほぼ一日おきに来てくれるのだけど、いつも一人、カウンター席で、ジョニ赤スコッチウイスキーの水割りを飲んで一時間ほどで帰っていく。笑顔で、英雄にも話しかけてくれるのだが、眼にはするどいものを感じることがある。

(つづく)

#### 【十頁からの続き】

主性と利益に敵対するものばかりです。

自己の戦略上の利益を求めたのか？

朝鮮戦争の原因を問いつめる際、

一体誰が朝鮮半島分断という局面を作り上げ、南北双方によって可能であったはずの統一過程を破壊し、対立局面を作り上げた後に、

#### 【七頁からの続き】

果的に民衆が勝ち取る民主化ではなく、国会議員の目線から民衆に与える民主化にすぎなかった。

また、人生の半分を在野と無縁の生活に費やしたノ・ムヒョン氏にとって、「在野」として活動するには時間が足りなかった。韓国と

朝鮮民主主義人民共和国との停戦状態が一人のブルジョア弁護士を在野の「アスファルト弁護士」に転換させ、一生を中途半端に翻弄し続けてきたといえる。

国家保安法がなければ、弁護士ソン・オソクは今も、釜山の海でそして日本の琵琶湖でヨットを楽しんでいるかも知れなかった。

